

しまし 議会だより

Shimashi
Gikai

臨時号

2018.12.15



正副議長のごあいさつ

未来への責任を果たす、我々の使命です。

志摩市議会議長 中村 和晃

残り任期1年、引き続き議会運営を担わせていただきます。改めて責任の重さを痛感するとともに、気を引き締めてまいります。

この1年、議会内では活発かつ慎重な議論を重ねてきました。ふるさと応援寄附金の減少や人口減少等、財政面の厳しさが増す中で、我々の責任も非常に大きなものと実感しています。

平成の時代も残りわずかとなり、日本全体が新しい時代への一步を踏み出すとともに、志摩市も合併後、15年目に入りました。引き続き、スピード感を持って自分たちの役割を十二分に果たすことで、希望のある未来を次代につないでいけるよう努めてまいります。

今後とも市民の皆様のご理解とご協力、ご指導を賜りますようお願いいたします。

議長とともに歩む

志摩市議会副議長 金子 研世

この度、議員各位のご推挙をいただき、志摩市議会副議長に就任させていただくことになりました。任期は1年ですが、責務の重大さを日々顧みながら、議長とともに務めてまいりたいと改めて皆様にお誓い申し上げます。

副議長は議長の補佐役として、議長が掲げる議会改革、行政改革にしっかりと応じ、車の両輪のごとく進んでいかなければなりません。今後は議長の思いを十分に理解しながら、志摩市、志摩市議会の発展の一助になればと考えます。

最後に市民の皆様のご理解とご支援をお願い申し上げまして、就任のご挨拶とさせていただきます。

平成 30 年 10 月 31 日の第 1 回臨時会において役員改選を行い、副議長、議会選出監査委員等を決定しました。なお、議長、各常任委員会委員、各特別委員会委員および一部事務組合等議会議員の任期は 2 年となっていますので、今回変更はありません。

また、平成 30 年度一般会計補正予算（第 3 号）や同意 3 件を審議し、全会一致で可決しました。

副議長

金子 研世

監査委員

濱口 三代和

議会運営委員会（7 人）

定例会などの会期日程や議会運営に関する事項、議長の諮問に関する事項について審査・調査を行う委員会

委員長	山下 弘	副委員長	橋爪 政吉
委員	山本 桂史	濱口 卓	大西 美幸
	谷口 覚	西崎 甚吾	

人 事

教育委員会委員、監査委員および志摩市公平委員会委員にそれぞれの方を任命・選任することに同意しました。

※敬称略

●教育委員会委員

森 かお子

（浜島町）

●監査委員

濱口 三代和

（議会選出）

●志摩市公平委員会委員

柴原 宏啓

（浜島町）

平成30年度 一般会計 補正予算

平成 30 年度一般会計補正予算（第 3 号）は、付託された予算決算常任委員会で審査され、原案のとおり可決しました。なお、本会議においても同様の結果となりました。

主な内容

○黒岩川の改良事業

磯部町穴川地内にある普通河川黒岩川の護岸に発見された倒壊の恐れのある箇所を改修します。

主な質疑

問 この工事において河川を改修する目的は何ですか。

答 河川に沿うような形で農道があり、その道路を通過して生活している家屋が 4 軒あります。護岸が倒壊すると、生活にも

影響が出るため、早急に修繕を行う必要があります。

問 工事による線路への影響はありませんか。

答 近畿日本鉄道に確認したところ、この範囲であれば線路に影響はないとの回答でした。

平成 30 年度 一般会計補正予算（第 3 号）

補 正 額 1930万円

予 算 総 額 257億4663万円

平成30年
第1回
臨時会

市の発展に向け 決意新たにスタート

議案の審議結果一覧 (議会構成に係る選任・選挙を除く)

●全会一致で議決した議案等

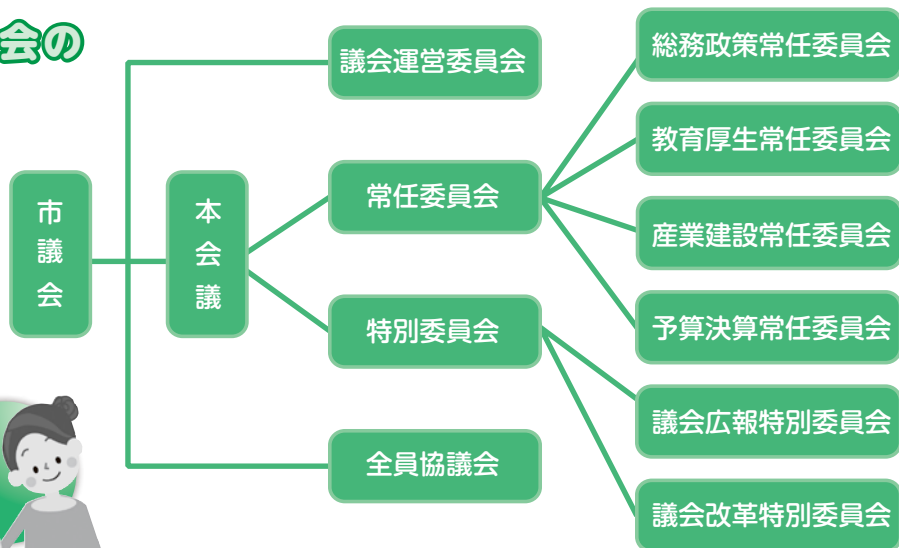
※紙面の都合上、議案名が省略され、正式名でないことがあります。

区分	議案番号	議 案 名	議決結果	委員会付託	審査結果
予算	議案第 57 号	平成 30 年度一般会計補正予算 (第 3 号)	可決	予算決算 常任委員会	可決
その他	同意第 1 号	教育委員会委員の任命	同意	なし	—
	同意第 2 号	監査委員の選任	同意	なし	—
	同意第 3 号	志摩市公平委員会委員の選任	同意	なし	—

教えて

志摩市議会の しくみ

市議会には予算や条例などの最終的な意思決定を行う本会議のほかに、多岐にわたる議案等を専門的・効率的に審査し、また、重要な事項について調査するための機関として委員会等を設置しています。



常任委員会管外研修レポート

総務政策・教育厚生・産業建設常任委員会の委員が、7月に2日間の日程で先進地を訪問し視察研修を行いました。先進地からヒントを得た各委員長の研修レポートを掲載します。

7/5
～6

総務政策常任委員会

研修先
長野県下諏訪町、
駒ヶ根市、飯田市

公共施設跡地を活用
して移住定住を促進
～下諏訪町



下諏訪町では、厚生労働省所管の「防災リハビリテーション長野作業所」跡を6000万円で購入し、「しごと創生拠点施設」として起業創業支援のための施設、また、地域に開かれた施設として整備を行うべく、その活用方法を検討しています。

この施設は、立地する場所が「星が丘」という地名であること、また「住めばわかる、住めば変わる」というメッセージを込めて「ホシスメバ」という名前が付けられました。ホシスメバを拠点に移住者を育成しながら、その人が担い手となる移

住定住促進施策が展開されていきました。

地方創生を何とかしなければならぬという思いで、公共施設を買い取り活用する決断をしたことは素晴らしいと感じました。

誰もがどこでも利用できる公共交通を提供
～駒ヶ根市



駒ヶ根市は、民営路線バスの廃止に伴う代替策として、平成13年からコミュニティバス「こまちんバス」を運行しました。しかし、利用者数の減少は止まらず平成25年に廃止となりました。

平成25年からは、高齢者を中心とした交通弱者の通院や買い物支援を目的に、デマンド型乗合タクシー「こまタク」と割引タクシー券制度を取り入れるとともに、福祉タクシー券制度を拡充しました。

高齢化の進む志摩市でも最低限の通院と買い物を考え、思い切った施策が必要だと改めて思いました。

飯田市のふるさと納税には、特産品を返礼する「ふるさと飯田応援隊」と、特産品の返礼はしない「飯田市20地区応援隊」の2種類の仕組みがあります。

20地区応援隊は、応援したい地区を選んで寄附をすることで、各地区の取り組みに対して直接支援ができるものです。寄附者への返礼は地区からのお礼状や行事、お祭りの案内等です。さまざまない機会を通じて絆づくりを行うことによって、交流を通じた地区とのふれあいを楽しんでいたことがこの制度の本旨とな

っています。「交流↓関係↓将来の定住」へつなげるためにふるさと納税の仕組みを地区づくりにどう生かすか、集めるのは「お金」か「心」か考えさせられる研修でした。

委員長 谷口 寛

管外研修報告書を作成

志摩市議会では、市政の発展と向上のため、常任委員会ごとに視察目的を定め、先進的な取り組みをしている自治体等を訪問し研修を受けています。

研修後は、参加した議員が研修レポートを作成し、報告書として1冊にまとめ、議員同士の情報共有や今後の議会活動に活用することとしています。



教育厚生常任委員会

7/2
~3

研修先

愛知県豊明市、岐阜県岐阜市

障がい者雇用を目的とした民間農園を誘致

～豊明市

豊明市では、障がい者が本当に自立するためには生活のできる「雇用」が必要と考え、農業を通して障がい者の就労を支援する「わーくはぴねす農園・あいち豊明ファーム」を誘致しました。

ここは企業向けの貸農園で企業が雇用した障がい者に、この農園を職場として働いてもらうという仕組みになっています。豊明市の役割は、農園開設のための用地の紹介、障がい者団体・家族への事業説明会などであり、財政的な負担はほとんど必要ありませんでした。民間ならではの新たな発想の転換を取り入れ、そ

れに賭けた市長の判断・行動力により、「障がい者の生活自立支援」就労形態のあり方」について見事に目的を達成していると感じました。当市の福祉施策の取り組みへの参考となった研修でした。

ICTを活用した教育の推進

～岐阜市

平成12年4月に開設された岐阜市教育研究所は、「教育研究所研修事業」と「教育情報センター整備事業」の二つの事業を大きな柱としており、教育の情報化に伴う学習支援や教科指導に関するネットワークセンターとして、学校支援体制を整えています。

岩野田北小学校は、タ

ブレットやデジタル教科書を活用し、ICT教育に先進的な取り組みを行っている小学校の一つです。2020年度から本格的に導入される小学校のプログラミング教育を見越し、ペッパー君を導入した授業も行われていました。

志摩市においても、総合教育センターやタブレットを含めたICT機器の利活用に取り入れることができる事例が多くあった研修でした。

委員長 大西 美幸



産業建設常任委員会

7/4
~5

研修先

静岡県熱海市、小山町

参観灯台を含めた観光地の取り組み

～熱海市

熱海市では、初島灯台をウォーキングで訪れる場所の一部として位置付けています。島を訪れて食事や散策をしながら灯台を観るといった観光形態のため、必ずしも参観灯台が初島の観光目的にはなっていないということでした。また、熱海市では情報発信のため、ドラマやバラエティ番組などロケ地の誘致を積極的

に推進することで、宿泊客数を回復した実績があります。志摩市が考えている参観灯台を観光資源として活用し、観光客の誘致につなげたいとの思いとは



少し違うように思いましたが、観光客誘致に対する熱海市の取り組みについては参考にできることも多くありました。

道の駅に指定管理者制度を導入

～小山町

道の駅「ふじおやま」は、東京と静岡県沼津市を結ぶ国道246号に隣接して、地場産品の販売、観光や町全体の情報発信



および交流拠点として平成16年に整備されました。平成25年度からは指定管理者制度を導入して運営を行っています。指定管理の協定書には、「町から指定管理料は支払われない」逆に「指定管理者から町に対して年度ごとの施設使用料として施設総販売額の5%相当額または2300万円のいずれか多い方の額を納付する。従業員の採用は町民を優先し雇用の促進に努める」などと明文化されており、志摩市との運営方法には大きな差異があるように思われました。道の駅の規模は違いますが、志摩市においても今後の展開の参考にしたいと感じました。

委員長 中村 孝司

議会活動を報告 市民と意見交換

各地区で 多くの意見を いただきました

志摩市議会では、10月3日から12日にかけて、市内5会場で「市民との意見交換会・議会報告会」を開催しました。

この報告会は、議会の活性化と議会改革の一環として市民への説明責任を果たすために開催しています。今回は、一般選挙後の初の開催であり、延べ137人の参加をいただきました。

報告会の第1部では、平成29年12月定例会から平成30年9月定例会までの議案審議の概要等について報告しました。

第2部では共通テーマとした「交通弱者対策」として



や各地域が抱える問題等について、会場の皆さんと意見交換を行い、熱心な意見・議論が交わされました。

今回いただいたご意見や反省点を踏まえながら、今後もよりわかりやすく身近な議会を目指していきます。

主な質疑・意見

意見交換会で寄せられた主な質疑・意見などを紹介します。

交通弱者対策

- 買い物難民や病院への交通便利だけでなく、もっと広範囲に交通弱者の枠を広げるような施策はできないのか。
- 利用者の利便性を考えて、自宅からバス停までの距離を考慮した運用はできないか。
- 2020年度で渡鹿野島県道船への県補助がなくなる恐れがあるが、何とか継続してほしい。
- 「とくし丸」のような移動販売を増やしてもらえないか。
- 浜島地区で試験運行を行った電動バスを、今後定期的に運行していく考えはあるのか。
- 市民が資金を出し合うような形で、タクシーを

シェアするといった考えも必要ではないか。

教育環境の充実

- 小中学校の給食の無償化を期待しているが、どのように考えているか。
- 学校の統廃合で使用しなくなった学校の貴重な資料を保存してほしい。
- 資料や備品等の扱いはどうなっているのか。地域の歴史的価値のあるものだから、地域の識者を交えて協議をすべきである。
- 教育にもっと力を入れてほしい。

防災対策

- 避難所であることの表示がないため、安心のために早急に表示をつけてほしい。
- 停電への備えがない避難所に発電機を設置してほしい。
- 避難所に簡易トイレの設備を充実してほしい。
- 避難所の運営について、自治会の協力が必要では

ないのか。市と自治会がともに運営すべきではないか。

その他

- 高台に避難する時のサポート体制の強化、また避難しやすいように新しい避難路を作った方が良いのではないか。
- 空き家除却への補助金制度創設をお願いしたい。
- 獣害対策について、もう少し積極的な対応を議会からも進言してほしい。
- 横山天空力フェテラスが午後4時30分までの営業時間になっていることについてどう考えているか。
- 創造の森横山の今後の計画はどうなっているか。
- 1割削減が続いている自治会活動への助成金についてどのような見解か。実態把握してほしい。

皆さんの声を届けます

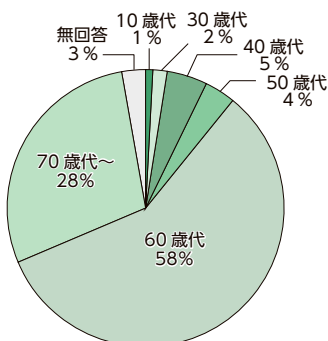
議長・副議長が市長に要望書を提出

今回の市民との意見交換会および議会報告会を受けて、各地区で出された意見等をまとめた要望書を市長に提出しました。

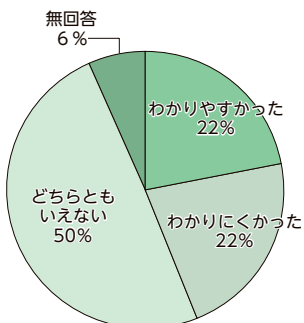


アンケート集計結果 (回収率 79.6%)

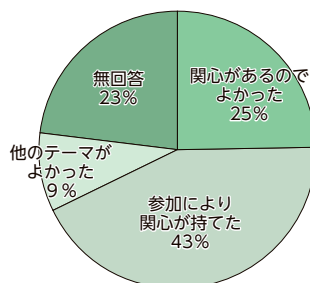
あなたの年齢は



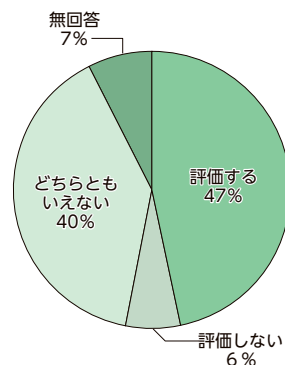
第1部の報告内容
はいかがでしたか



第2部の意見交換のテ
ーマはいかがでしたか



報告会を評価
しますか



主なご意見・ご感想 (抜粋)

- 説明が台本を読んでいるだけなので伝わってこない。
- 報告内容が簡略されてわかりにくい。
- 市政懇談会と変わらない。行政の課題を掘り下げて報告してほしい。
- 説明は言葉だけでなく映像も使用してわかりやすくしてほしい。
- 参加者が少ないのではないかな。
- 質疑応答形式を続けてほしい。
- 個々の議員の意見がほしい。
- 意見交換はグループごとのワークショップ形式で行った方が意見を出しやすい。
- 地域テーマでのさまざまな意見に対する議員の大変さを感じた。
- 大変有意義な報告会である。

..... 貴重なご意見、どうもありがとうございました

議員研修会

公営企業会計をより専門的に学びました

議会の決算審査には、決定した予算が適切に執行されたかどうかを審査するとともに、行政効果や経済効果を測定し、住民に代わって評価する、きわめて重要な意味があります。

また、決算審査の結果は、その後の予算審議や財政運営の評価に活用する役割が求められています。このことから、議員が決算審査を行う上での知識を深める機会として、公営企業会計を専門的に学ぶ研修会を開催しました。研修会では、公認会計士・税理士の林伸一氏から、「地方公営企業会計制度の概要」「官庁会計と企業会計」「公営企業会計の留意事項」「決算書の概要とポイント」について講義を受けました。

研修会は、議員の政策形成能力や資質向上のため今後も定期的で開催します。



◆◆ 傍聴してみませんか ◆◆

本会議や委員会は傍聴することができます。

傍聴を希望される方は傍聴受付で、氏名、入室時間をご記入の上、傍聴席へ入場してください。

- だれでも自由に傍聴できます。
- 受付簿に氏名を記入していただくだけです。
- 市役所6階までお越しください。
- 傍聴席は34席あり、車いす対応スペースもあります。
- 通常、本会議は午前9時から開会されます。
- 委員会の傍聴は、各委員長の許可により傍聴できます。
- 議場では、補聴用受信機を貸し出していますので、必要な方は議会事務局にお申し出ください。



市役所1階ロビーで議会中継を見ることがもできます（本会議のみ）

議会トピックス

間崎島へ現地視察

志摩市議会では、8月27日に間崎島の現状について調査・研究するために現地視察を行いました。間崎島では、一般社団法人伊勢志摩里海学舎「間崎島遊海倶楽部」を見学し、事務局から事業説明を受けました。その後、間崎自治会および里海学舎と意見交換を行いました。

議会では今後も地域の皆さんと意見交換を行い、地域の現状把握に努めてまいります。

平成30年第4回定例会日程

11月	29日	本会議
12月	6・7・10日	本会議（一般質問）
	12日	総務政策常任委員会
	13日	教育厚生常任委員会
	14日	産業建設常任委員会
	17日	予算決算常任委員会
	21日	本会議

市役所6階議場・委員会室にて午前9時～
※都合により変更になる場合があります。詳しくは議会事務局へお問い合わせください。市のホームページにも掲載しています。

「しまし議会だより」はボランティア団体のご協力で、視覚障がいのある人に音訳（朗読）テープによる広報をお届けしています。



間崎漁港で

編集後記

昨年の市議会議員の改選から早1年が経ちました。「しまし議会だより」は議会と市民をつなぐ重要な誌面です。市民の皆様方に親しみ深く読んでいただけるよう、毎回いろいろな検討を重ねながら発行しています。これまで、市民の方々からいろいろなご意見やご提案をいただいています。それらの意見も広報づくりに生かしながら、一層よりよい紙面づくりに努めますので今後ともよろしく願います。

下村 卓也

■議会広報特別委員会■

委員長	下村 卓也
副委員長	濱口 卓
委員	山本 桂史
委員	井上 幹夫
委員	前田 俊基
委員	野名 澄代
委員	坂口 洋